

上川支部 活動報告

1 活動方針

第五期研究主題

『できるを実感し、やりたいと思う体育学習』

～具体的な目標をもち、仲間と共に学び合い課題を解決する～

視点1 できたが実感できる 教材の工夫

→ 児童生徒の実態にあった教材・教具の選定と工夫

視点2 もっとやりたいと思う 学習過程

→ 運動の量と運動頻度を保障し、それぞれが課題をもつ

視点3 できたを実感し、もっとやりたいと思える 評価の工夫

→ 継続性があり 児童生徒も教師も見える評価 残る評価

2 活動報告

(1) 「第31回 上川管内学校体育研究大会 下川大会」について (11月22日)

- 授業者 水間 達也 教諭 (下川町立下川小学校) ～ ボール投げゲーム 1年生
光永 雅晴 教諭 (下川町立下川中学校) ～ バスケットボール 1年生

- 研究発表 「運動の日常化へのアプローチ ～ 万歩計の活用を通じた取り組み」
五十嵐 隆介 教諭 (和寒町立和寒中学校)

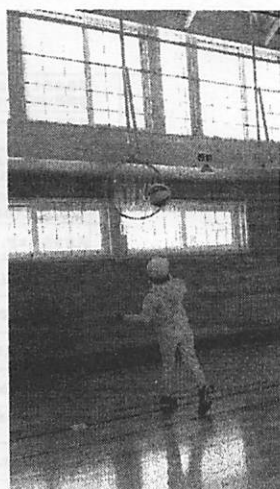
- 助言者 三浦 裕 (北海道教育大学旭川校准教授)
小出 高義 (北海道教育大学旭川校准教授)
北河 剛治 (北海道教育庁上川教育局指導主事)

- 公開授業1 「1年 ボール投げゲーム ～ 水間 達也 教諭」

“狙ったところに投げる” “ボールの落下点を予測する”

つきたい力を明確にし 教材の工夫を図った授業

～ 開発した教材は、有効で本当に技能は身についたのか考える ～



○バレーボールのレシーブを意識した教材で、落下点に入るという視点で効果的であった。

○課題を達成すると帽子を逆にするというシンプルな設定が効果的であった。アドバイスに行くべきところが明確になる。

●教師の声かけでもっと子どもたちを評価する必要があった。

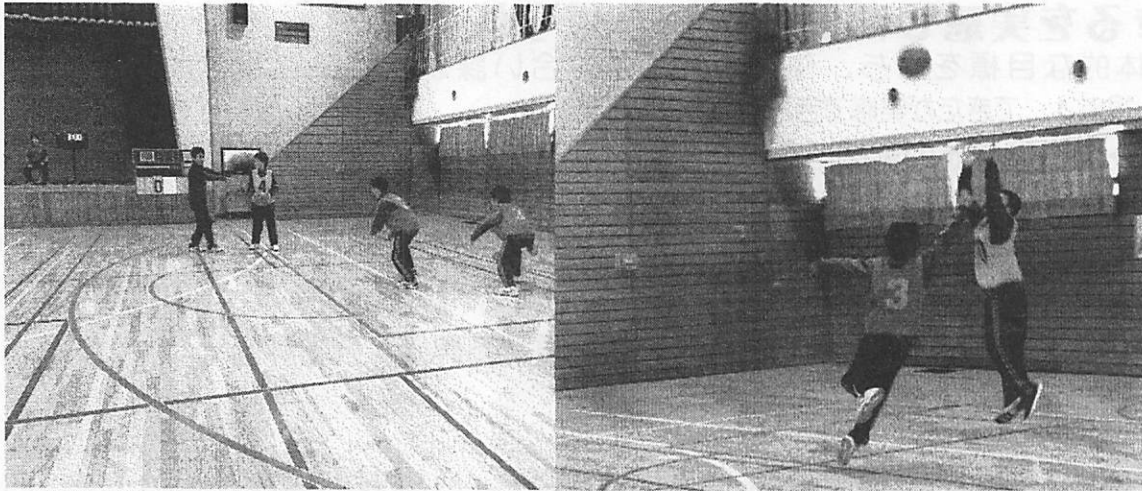
●子ども同士の関わらせ方に課題があった。

●公開授業2 「1年 バasketボール ～ 野口 涼太 教諭」

子どもたちのつまずきを予想し、単元を組み立てる

必要感のある指導過程を目指した授業

～教師の見立てと子どもたちの実態はあったのか。指導過程は適切か考える～



○単元の始めに最終形態のゲームを行い、課題を見つける構成は、よかった。

○毎時が、基礎技能習得→メインゲーム→タスクゲーム→メインゲームを授業の流れで進められ生徒がスムーズに課題解決に向かっていける工夫がなされていた。

●もっと細やかにグループや男女などそれぞれの課題を明確にし、解決していけるとよい。

●運動量が多い分、生徒同士の関わりが少し薄かった。

子どもたちの関わりに “教師の適切な声” “有効な場の設定” が課題

●研究発表 「運動の日常化へのアプローチ太 五十嵐 隆介 教諭」

町を巻き込んだ健康プロジェクト

万歩計から自分の健康を考える取り組み

(2) 指導力向上プロジェクト

「1年に1回の授業研じゃ仲間になれない」とスタートしたプロジェクト

(3) 校長・教頭プロデュース授業

校長・教頭先生が自校の若手教員タッグを組んで授業を公開 停滞中

(4) 自分の授業も研究授業も簡単チェック

上川版の授業チェックシートに着手

3 今後の活動予定

(1) 三者交流会 ～ 1月

何よりも

「今さら聞けない」と体育で困ったことがあった時、頼れる仲間！！

総合学習研究会全国大会

体育授業参観者チェックリスト
 学年級年級(なし 0～3年 5～10年 11年～20年 20年～)
 この調査は、授業の改善に役立て、研究協議の障の資料とするために行うものです。今日、参観された授業について、先生がお感むになったままに評価してください。[各質問項目について1～5の尺度の中で当てはまる番号に丸をつけてください。]

今日の授業に対する評価
 1 2 3 4 5
 いてま は新 いじ まよるくた
 はつ まま えち るく ぬい
 また らり なら ぬ てへ
 らく ぬい と て はん
 なぬ いて も は まよ
 1 2 3 4 5

(小・中) 1年生の授業

一 教 師 の エ	1	学習成果をまみ出すような運動(投げ、増づくり、学習課題)が用意されていた。	1	2	3	4	5
	2	学習課題(学習ノート、カード、図など)が事前に活用されていた。	1	2	3	4	5
	3	楽しく学習できるような運動(投げ、増づくり、学習課題)が用意されていた。	1	2	3	4	5
	4	児童生徒が何を学習し、何を身につけようとしているのかが、よくわかる機会であった。	1	2	3	4	5
	5	児童生徒同士が、積極的に教え合っていた。	1	2	3	4	5
一 生 に 関 与 す る	6	児童生徒の上達していく姿がみられた。	1	2	3	4	5
	7	児童生徒が、主体的に学習に取り組んでいた。	1	2	3	4	5
	8	児童生徒の褒賞や拍手、歓声などがみられた。	1	2	3	4	5
	9	児童生徒が、自ら進んで学習していた。	1	2	3	4	5
一 評 価 の エ	10	先生は、ほめたり励ましたりする活動を積極的に作っていた。	1	2	3	4	5
	11	先生は、心をこめて児童生徒に関わっていた。	1	2	3	4	5
	12	先生は、適切な助言を積極的に与えていた。	1	2	3	4	5